

平成28年版科学技術白書表紙絵・デザインコンクール 《最優秀作品》

※所属・学年は応募当時のもの



居永 美佳 さん
京都芸術高等学校 1年
(一般部門)

■本人コメント

夜空を泳ぐ機械の魚の感じで描きました。一つの画材だけではなく、いろいろな画材を使って描いたので楽しかったです。

■選考委員コメント

四本

絵の技術力が素晴らしく、落ち着いた色使いが大変好いと思います。とても夢のある絵ですね。

齋藤

開いた本から夜空があふれ出し、その夜空の中に泳ぎ出す機械の魚...という、時間を追ったストーリー性がまず魅力的。水彩絵具の色彩も美しく、一枚の絵でありながら映像を見ているようだった。センスと描画力、どちらもある人だと思う。

南

人工的な形態で表された魚ですが、しなやかに描かれ生きているようです。

竹内

機械の魚がとても美しいですね。淡い色彩もすてきです。

元村

機械じかけの魚が上手に描けています。精巧なロボット？が人と暮らす未来が実現するかどうかは、科学技術が深くかかわってきます。